──後　記──

身延山開闢七〇〇年を記念して、本号を記念号といたしました。掲載論文もそれに因んだものを三篇得ることができました。七〇〇年の春秋を経て、「祖山身延」の教学は、宗祖の教えを現代に活かすべく、日夜先師によって研鑽努力が続けられて来ました。これは又将来に向っても同様のことが言えると思います。

本学園にとって本年の特筆すべきことは、学寮＜厚徳寮＞が老朽化したので、これを一端取りこわして、そのあと＜鉄筋二階建のモダンな＜新学寮＞を建設することになり、既に着手して、今秋にはオープンの運びとなったことであります。これは永い間の念願であっただけに、身延を志す学徒にとってはこの上ない朗報となりましょう。

さて、今秋は開闢七〇〇年と、この新学寮の落成を祝して、久し振りに全国同窓会大会を、十月十八日午後二時から、又その翌日十九日と廿日の両日は、日蓮宗教学研究発表大会を開催する予定になっております。振ってお誘いの上ご出席下さい。同窓生全員に漏れなく個別に通知することは大変困難でありますので、会員の諸賢より宜敷ご連絡を近隣の方々におとり戴ければ幸であります。

会員各位の御健勝をお祈りしつつ、大会へのご参加を熱望してやみません。

（上田・記）

棲神　四十五号

昭和四十八年二月十日　印刷
昭和四十八年二月十六日　発行

編集者　里見泰穏
発行者　室住一妙
印刷者　宮田如龍
甲府市中央一丁目十二―三十一
印刷所　大宣堂印刷

山梨県身延山東谷
（〒NO、四〇九―二五）
発行所　身延山短期大学学会
振替（甲府）一二七五番
電話身延（〇五五六六）二―〇一〇七